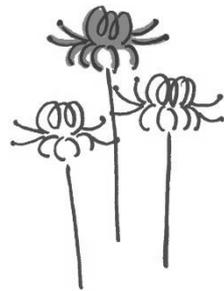


# にこで ~和手~



2023年秋号 南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 発行



南区子育て応援マップ おひさまだいすきの2023年度改訂版が完成しました！  
南区内全ての公園・様々な親子の居場所・保育所・幼稚園・市民利用施設・小児科など、乳幼児家庭に役立つ地域情報が満載。今回の改訂のポイントの一つは、地図面で地域サロンを目立たせたこと。さらに多くの親子が足を運びきっかけになることを願っています。(はぐはぐの樹ホームページからもPDFデータ版がご覧いただけます。)

**予告!** はぐはぐの樹主催 子育て支援関係者向け講座  
**「ステップファミリーの理解と支援(仮)」**  
 12月22日(金)14時~16時 大岡地区センター2階 大会議室にて

\*ステップファミリーとは子どもと一緒に結婚や同居をしてきた新しい家族、家庭のことです。  
 \*詳細は、10月下旬からチラシ・ホームページ・はぐはぐの樹だより11月号でご案内します。

子育てパートナーの南区の子育て支援活動紹介  
 永田みなみ台地区  
**子育てサロン まんま**

8月4日(金)「子育てパートナーの出張相談」で伺った子育てサロン「まんま」の活動をご紹介します。

「まんま」が開催されている南永田団地の集会所は最近リニューアルされて、以前伺った時よりも明るく綺麗になっていました。聞くところによるとUR(団地を管理している「都市再生機構」のこと)の職員さんが手作りでベビーカー置き場の表示を付けたり、お絵かきスペースを設置したとのことでした。

当日は3組の親子がきょうだいを連れて来ていました。その内、2組の外国人の親子は初参加で、URの職員さんから紹介されたとのことでした。夏休みということでヨーヨー釣りの用意があり、子どもたちは楽しそうにヨーヨー釣りをしていました。子どもを遊ばせることができ良かったと話していて、次回開催日を確認していました。



日時：毎月第1金曜日  
 10時~11時45分  
 対象：未就園児と保護者  
 会場：南永田団地2街区集会所  
 2階洋室(永田みなみ台2)  
 会費：100円

「にこで~和手~」第45号  
 【発行】南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹(サポートルーム)  
 〒232-0056 南区通町4-115 アイライン弘明寺2階  
 TEL:720-3655 FAX:715-3815  
 MAIL: info@haghagnoki.jp



6月23日(金)、大岡地区センター2階大会議室で開催し11名が参加しました。講師の皆さんの温かな語り口に聞き入り、積極的な質問も出て、大変充実した講座になりました。

★参加者アンケートより★

- 体験ワークがとても面白かったです。知覚の多様性や言語の発達など現況はとても片寄った世界で(社会)だと思いました。“障害”という垣根を越えた〇〇さんというつながりができる社会を目指したいですね。
- 「障害」といっても一言では表せない様々なものがあることを改めて感じました。みなさんの理解がすすんで「障害」という言葉が「個性」になるといいですね。
- 子育てのお話はうちも一緒！と思いながら聞きました。障がいある・なしではなく、みんなにとって暮らしやすい工夫ができていくといいなと思います。もっともっとお聞きしたいです。



## 第1回南区子育てもっとネット会議 ～4年ぶり、全体対面での開催～

7月26日(水)、南区役所1階多目的ホールにて開催し、30団体・施設から31名、事務局関係者13名と合わせ44名が出席しました。久しぶりの全体での対面形式であることを活かし、グループトークの時間をたっぷり取りました。また、各団体・施設からのPRも盛りだくさんで、様々な取組・イベントが再開していることを共有できました。

### グループトーク記録 (一部抜粋)

#### トークテーマ:今どきの子育て何が変わった?

- ◆ 世代ギャップを感じる。子育ての仕方、考え方が変わってきたと感じる。
- ◆ 情報がいっぱいあるので、ネットの情報を鵜呑みにしている保護者がいる。どうサポートしたらいいか。上手にチョイスしている人もいる。
- ◆ 園の保護者面談では父親の出席が増えている。父親が子どもの様子をきちんと把握できている。

#### トークテーマ:参加者を増やしたい

- ◆ 口コミが参加のきっかけになっている。知っている人が伝えたり、誘ったりして参加している。
- ◆ 知らないところに行くのが苦手な人にもLINEだと届けられる。
- ◆ 支援関係者が互いに各団体の活動を知る

ことが大事。求める人に届くように広げていく。

#### トークテーマ:気になる親子への対応

- ◆ 外国の方で言葉の壁がある場合、手続き等の説明ではジェスチャーや通訳アプリなどでは限界がある。みなみラウンジに通訳を依頼してコミュニケーションエラーを無くすようにしている。
- ◆ 月1回でも子育てサロンを開催する意義＝「地域に集える場所がある」。子育てサロンに行き話だけでなく地域でも話せる関係性を作っていく。

#### トークテーマ:広報・周知の工夫

- ◆ インスタグラム投稿を担当するスタッフがいる。広場の雰囲気は伝わるので、それを見て来所する人もいる。対象の世代に合わせて発信ツール(SNS)を使い分けることが大事。

### 出席者アンケートより (一部抜粋)

- ◇ 悩み事など共有でき、みなさん工夫されているのがよくわかった。PRもでき、他施設のPRも知れた。
- ◇ 同じ地域の、子育て施設の仲間が頑張っていること、それぞれの活動を知ることができることは、自分への励みにもなりました。
- ◇ 南区の様子や問題など知ることができて、自分のとこ

ろでももっとできることがあるかも・・・を考えていきたいと思いました。

- ◇ 若い保護者世代を知ること、私たちとは違う時代を生きている保護者を理解し、支えること、必要な支援は変わらないけれど、提供の仕方を工夫したり、時代に即していくこと、など考えることができました。
- ◇ 子育てをテーマに様々な角度からの意見を幅広く伺うことができて、とても勉強になった。